

第1章

箕面市の架け橋プログラムの取り組み

1. 概要と課題

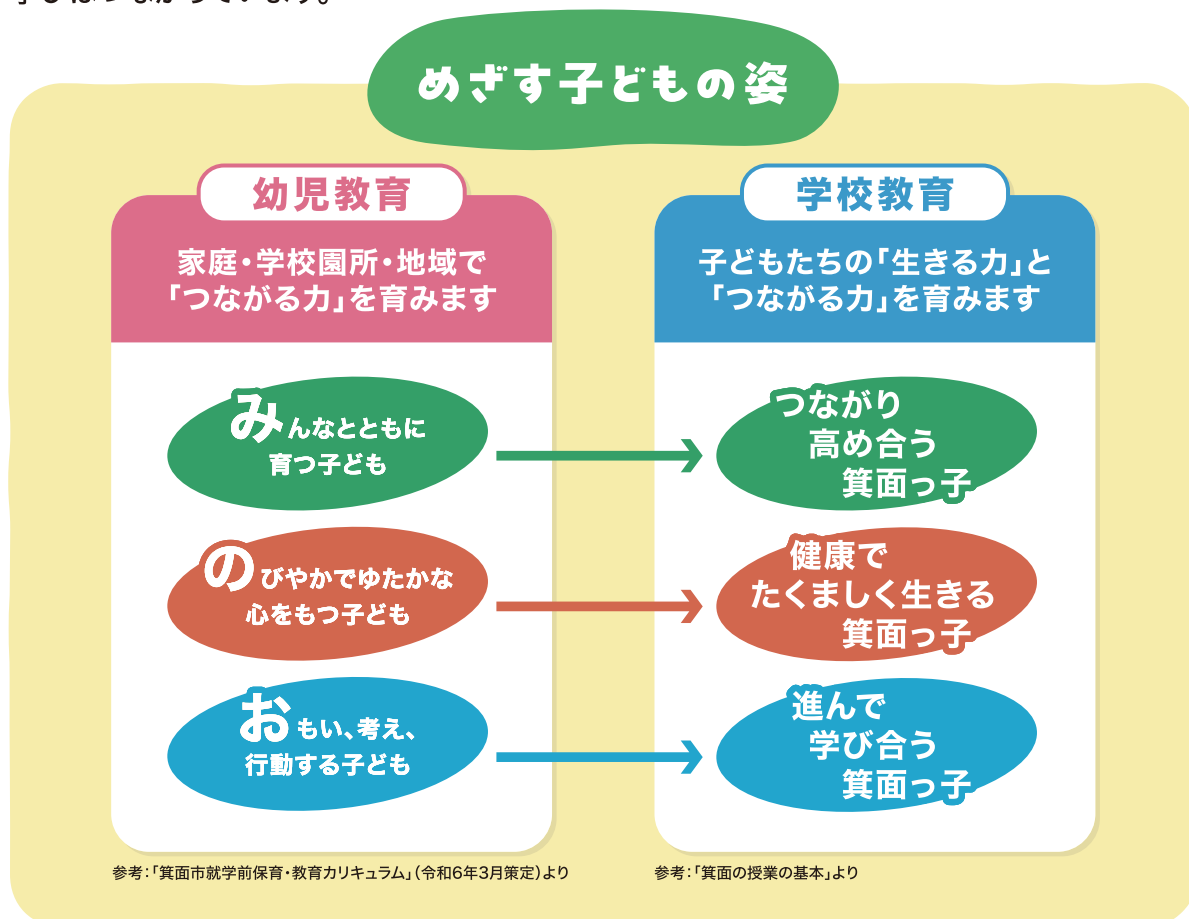
平成29年に3要領・指針及び小学校・中学校学習指導要領が改訂されています。

文部科学省では、「幼保小接続期の連携の手掛かりとして『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』(10の姿)が策定されるなどの成果がある一方で、半数以上の園が行事の交流などにとどまり、資質・能力をつなぐカリキュラムの編成・実施が行われていない、スタートカリキュラムとアプローチカリキュラムがバラバラに策定され、理念が共通していない、『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』(10の姿)だけでは具体的なカリキュラムの工夫や教育方法の改善方法が分からない」といった課題が指摘されています。

2. 箕面市における「めざす子どもの姿」のつながり

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期です。幼児教育においては遊びを通して学びの芽生えを培い、小学校ではその学びの芽をさらに伸ばしていくことが重要です。そのためには、幼児教育と小学校教育の円滑な接続が欠かせません。

発達段階や教育方法に違いがあることから、一見異なるものに見える幼児教育と小学校教育ですが、「資質・能力」を育むこと、また「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」といった考え方には連続性や一貫性があり、幼児期と児童期の子どもの発達や学びはつながっています。



3. 架け橋プログラム事業

箕面市では、令和4年度から文部科学省「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」を受託し、萱野小学校区をモデル地域として、架け橋プログラム事業を進めてきました。

箕面市内のどの地域においても、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を進める必要があります。教育課程をつなげる観点から「カリキュラム」の策定が必要と考えました。モデル地域のみなさんによる協力のもと、幼児教育と小学校教育のそれぞれの教育活動を相互に知り、教育課程のつながりを共通の視点で「見える化」した「架け橋期カリキュラム(素案)」を令和5年10月に作成しました。さらに、「架け橋期カリキュラム(素案)」の実践検証をモデル地域で進め、令和6年7月に架け橋期カリキュラム開発検討会議において「箕面市架け橋期カリキュラム」としてまとめました。

4. モデル地域における取り組み

■架け橋期カリキュラム作成プロセス

1年目(令和4年度) 土台づくり

「架け橋期における接続の意義」に関する学習会(学識経験者による研修)や、施設見学などを通じて、関係者間の顔合わせ、各施設における取り組みや子どもたちの実態共有、意見交換などの土台をつくることを目的に活動。



2年目(令和5年度) カリキュラム(素案)の作成

- ・1年目の取り組みを継続しながら、幼児期に育まれる資質・能力や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)が小学校の教科などにどのように接続していくのか、検討会議で意見聴取。
- ・検討会議での意見を踏まえ「架け橋期カリキュラム(素案)」を作成し、本市のモデル地域である萱野小学校区(萱野小学校、かやの幼稚園、萱野保育所)で実施・評価。



3年目(令和6年度) カリキュラムの完成

- ・1・2年目の取り組みを継続しながら、モデル地域での実践を引き続き行い、評価を反映させた「架け橋期カリキュラム」を完成。
- ・完成した「架け橋期カリキュラム」を保育・幼児教育施設及び小学校へ周知するとともに、市内全域で持続可能な運用方法の検討。

■架け橋期カリキュラム開発検討会議・ワーキンググループ

「架け橋期カリキュラム」を社会に開かれた教育課程にするため、さまざまな立場のかたで構成される「架け橋期カリキュラム開発検討会議」を設置しました。

また、同会議に参加している小学校、公立・私立・民間の幼稚園・保育所・認定こども園の職員で構成された「ワーキンググループ」において開発検討会議の意見をもとに、施設見学や意見交換などを行うことで互いの教育活動やその工夫を知り、幼児期と児童期のつながりを考え、カリキュラムを作成しました。

架け橋期カリキュラム開発検討会議

- ・方針の決定
- ・さまざまな立場のかた(校長、公立・私立・民間園長、保護者、学識経験者)との意見交換



ワーキンググループ

- ・施設種別の垣根を越えた職員同士の関係づくり
- ・それぞれが行っている教育活動の内容について語り合い、相互理解の促進
- ・開発検討会議で決定した方針などをもとにカリキュラムの開発
- ・開発したカリキュラムなどの実践・検証



■体制図など

体制(架け橋期カリキュラム開発検討会議)

役割	所属など
会長	子ども未来創造局 担当部長 (箕面市教育委員会)
委員	箕面市立萱野小学校 校長(※)
委員	箕面市立かやのこども園 園長(※)
委員	箕面保育園 園長(※) (民間保育連盟より推薦)
委員	こども園 アサンブション国際幼稚園 園長(※) (私立幼稚園連盟より推薦)
委員	架け橋期保護者 3名
コーディネーター	大阪総合保育大学 児童保育学部 教授(包括連携協定締結大学) 【役割】 ・会議、ワーキンググループへの出席 ・助言 など

(※)の所属から派遣された職員でワーキンググループを構成。

箕面市教育委員会事務局

